

広島県立油木高等学校卒業 長田健大さん(自営農家)



長田 健大 (ながた けんた) さんの紹介

平成6年庄原市東城町久代の兼業農家の長男として生まれました。

家は水稲60a、繁殖和牛5頭を飼育しており、小さい頃から家の手伝いをすることが当たり前だと思って育ってきました。特に祖父と一緒に家庭菜園で様々な野菜や花を栽培することが楽しく、また中学生の頃からは近くの野菜栽培農家に手伝いに行くことも多く、そうした中で、将来は農業をしてみたいと思い続けており独立就農しました。

○長田健大さんの就農までの道

農業高校
(油木高等学校)

県立農業技術大学校
(野菜・花きコース花き専攻)

就農
(農業自営)

農業高校に入学しようと思ったキッカケは？ 農業を仕事にしようと思ったきっかけは？

- ・家から近くの高校で、農業について学べる学校ということで油木高校に進学しました。
- ・農業が好きなので普通科は全く考えなかったです。油木高校なら、急いで帰れば、普通の日にも少しは家で農作業ができると思って高校を決めました。

高校や大学校で学んだことは？

- ・高校では農業の基礎的なことを学びました。特に2年生の時「フレッシュファーム」という農業クラブの専門部を作り、友達と一緒に野菜を栽培し、収穫の喜びやそれが収入になる達成感を学びました。
- ・大学校では花の栽培技術を学びました。特に菊栽培の技術や面白さ、小面積でも収益を上げていく方法なども学びました。

今の仕事の中でやりがいを感じることは？

- ・土作りをし、苗を作り、苦労して育てた菊が思い通りにきれいに咲いた時
- ・想像していたより、市場で高値がついた時
- ・畑一面にきれいに菊が咲いているのを眺めた時など農家のやりがいを感じます。



就農先(自営)の紹介

菊 60a (内 輪ギク30a, 小ギク30a)

繁殖和牛 13頭 牧草地5ha

水稲 6.6ha 飼料稲1ha 農作業受託5ha

菊は東城菊生産組合に所属し、主に広島市場に出荷しています。

和牛飼育は主に父親がされているが、十分に良質な堆肥を利用できます。水稲の自作地は60aでほとんどが借地です。また作業受託も行っています。